



# 『東北圏だより』

## 復興のシンボル大島架橋事業

### 宮城県

気仙沼湾に位置する大島は、面積8.5平方キロメートル、約3千人が居住する東北地方最大の有人離島です。島外への移動手段は船舶のみで、島民は長年にわたり医療や物流などに不安を抱えていました。また、東日本大震災時には、長期間にわたり孤立するなど橋の重要性が再認識されました。

大島架橋事業は、大島と本土を結ぶ橋（名称：気仙沼大島大橋）と橋を含む一般県道大島浪板線（気仙沼市八幡前の国道45号から気仙沼市浦の浜（大島）まで）の延長約8キロメートルの整備を行う事業です（図1）。

気仙沼大島大橋は、橋長356メートル、支間長297メートルの中路式アーチ橋で、アーチ支間長としては全国で3番目、東日本では最長となっています。平成26年11月に工事着工し、5つのブロックで構成された橋梁本体は、国内最大級の大型クレーン船（3000トン吊）で大島瀬戸の架設地点に5回に分け架設を行いました。今年3月29日には、最後のブロックとなる中央径間（重量2700トン、長さ228メートル）の架設（写真1）を行い、島民の悲願であった大島と本土が橋で結ばれました。大型クレーン船により一晩で一気に架設したところを、テレビでご覧になった方も多いと思います。

現在、気仙沼大島大橋では、電気や水道などのライフライン工事を進めており、その後、照明灯や舗装工事を実施します。道路については、防災集団移転促進事業で整備された住宅地を結ぶ約1.5キロメートルを供用開始しており、現在は残り区間の事業進捗を図っているところです。

今年10月末には、橋の上を安全に歩行できる対策が整ったことから、大島の小・中学生や島民を対象に見学会（写真2）を開催したところ、約500名もの方々に参加をいただきました。参加した児童や生徒は、思い出として床版に絵やメッセージを残し、島民の方々は記念写真の撮影を行っていました。

気仙沼大島大橋は、震災からの復旧・復興の大きな弾みとなるとともに、気仙沼地域の産業・経済の発展や観光振興に大きく寄与することから、引き続き、平成30年度の完成を目指し事業を進めていきます。



図1 大島架橋事業計画ルート



写真1 中央径間架設状況  
（平成29年3月29日）



写真2 大島小学校の児童



気仙沼大島大橋 空撮

東北農政局では、平成29年11月17日（金）に仙台第2合同庁舎（仙台市青葉区）において、「豊かなむらづくり全国表彰事業」東北ブロック表彰式を開催しました。

豊かなむらづくり全国表彰事業は、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰することにより、むらづくりの全国的な展開を助長するとともに、地域の連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的に、農林水産祭表彰行事※の一部門（むらづくり部門）として昭和54年度から実施しているものです。

表彰式では木内東北農政局長より、「皆様方には、これまで築いてこられた豊かで活力のある地域を、ぜひとも次の世代へ引き継いでいただき、今後とも地域で取組まれている活動をより発展させていただきますようお願いする次第です。」と式辞が述べられました。

続いて、東北農政局豊かなむらづくり審査会の大谷隆二会長（東北農研センター 生産基盤研究領域 領域長）より、審査経過報告と講評が行われた後、木内局長より受賞団体に対して農林水産大臣賞及び東北農政局長賞の賞状が授与されました。

その後、各受賞団体の代表から受賞に対する謝辞と更なる豊かなむらづくりに向けて取組む旨の挨拶があり、表彰式は盛会のうちに閉会となりました。

#### ○受賞団体

##### 農林水産大臣賞（3団体）

- ・宮城県東松島市 「有限会社アグリードなるせ」
- ・山形県村山市 「山の内地域づくり協議会」
- ・福島県二本松市 「特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」

##### 東北農政局長賞（3団体）

- ・青森県深浦町 「深浦マグロ料理推進協議会」
- ・岩手県洋野町 「宿戸地区」
- ・秋田県横手市 「横手地域資源保全隊」

各団体の取組概要は、以下の東北農政局HPを参照して下さい。

<http://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/attach/pdf/171018-5.pdf>

なお、福島県二本松市「特定非営利活動法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」は、農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会から、『有機栽培による東和げんぎ野菜の販売や桑の葉などを活用した6次化商品の開発、就農支援の取組など、全国のモデル事例となり得る』と高く評価され、日本最高の栄誉とされる農林水産祭三賞の一つ、日本農林漁業振興会会長賞も併せて受賞し、11月23日に明治神宮会館で開催された農林水産祭式典で表彰されました。



▲平成29年度東北ブロック受賞者の記念写真

※農林水産祭表彰行事とは、農産・蚕糸部門、園芸部門、畜産部門、林産部門、水産部門、多角化経営部門、むらづくり部門の7部門で農林水産大臣賞を受賞した団体等の中から、部門別に、天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞を授与し顕彰するものです。

## 第1回PJ推進全体会議・第4回担当者会議 開催報告

東北圏広域地方計画推進室

去る11月30日（木）、仙台市内において、『第1回東北圏広域地方計画プロジェクト推進全体会議』及び『第4回東北圏広域地方計画推進に関する担当者会議』が開催されました。

はじめに、既存連携取組（各機関において先行的に取り組んでいる連携の取組）について、各構成機関よりご報告いただきました。

次に、計画のフォローアップ結果の取りまとめ状況及び東北圏における先行的プロジェクト等について、事務局より説明を行いました。

計画のフォローアップ結果については、年度内の公表に向けて作業を進めていきます。



▲会議の様子

## 編集後記

早いもので今年も残すところ1ヶ月を切りました。寒さがより一層厳しさを増していますが、風邪などひかぬよう体調管理には十分気をつけて年末年始をお迎えください。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：[thr-kou-suishin2@mlit.go.jp](mailto:thr-kou-suishin2@mlit.go.jp) ※メールアドレスが変わりましたので、ご注意ください。